

霧島市文化協会

会報きりしま

2024年3月31日

第18号

発行：霧島市文化協会会長 瀬戸口 浩
事務局：霧島市スポーツ・文化振興課内



第18回芸術祭「舞台発表」令和6年2月11日 国分ハウジングホール(霧島市民会館)



文化協会って何？



会長 瀬戸口 浩

「文化協会って何？」文化協会って何をしているの？という質問をよく聞きます。

中高生を含む若い方々に文化協会に対しての意見を聞こうと思いい、接する機会を増やしておりますが、その時、多くの質問が先程の二つです。50年を超える歴史と伝統を誇り、それなりの実績をあげてきたと自負している当協会が特に若者達にはその様な認識しかされていないのです。

ここ数年間はコロナ禍の為、我々の活動は制約を受けました。そのせいもあるかもしれませんが、今、霧島市文化協会は大きな転換期を迎えています。団体や会員も減少傾向に入っており、このままでは、いつかは当協会が無くなるのではないかと危惧しています。

市民の皆様には展示や舞台での発表を通して文化鑑賞の提供、伝

統芸能の保存継承、地域文化の向上に尽力して来ましたが今二度、協会の活動にご理解とご協力をお願いする次第です。

具体的には、皆様方の目に触れる機会を増やしますので、観客や聴衆として沢山の参加をお願いいたします。そして自らも何かやりたいと思われたら一緒に仲間になつて下さい。希望の分野がなかったら、新しく設立し仲間を募り、活動するのも良いと思います。文化協会はいつでも開かれています。

我々の方も、今年から新規事業「次世代文化フォーラム」を実施して老若男女、様々な世代からも意見を伺い、それをもとに、今後の活動を活発化させる方策を練り実現させてゆく所存です。

また、「賛助会員」制度も発足させました。この制度にもご協力を賜りたいと存じます。

最後になりましたが、霧島市民の皆様を始め、協会の諸先輩方、関係各位のこれまでのご尽力に敬意と感謝の念を表しますとともに、今後益々のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ごあいさつ



霧島市長
中重 真一



霧島市議会議員
飯屋 国治

ごあいさつ

霧島市文化協会「会報きりしま」第18号の刊行を衷心よりお喜び申し上げます。

瀬戸口会長はじめ、各支部文化協会の皆様には、日頃から、多岐にわたり、本市文化行政にご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、コロナ禍前と同様に各支部文化祭や芸術祭が開催されました。文化や芸術が我々に癒しと元気を与えるとともに、日常生活に欠かせないものであることを再認識しました。

芸術文化は、「まち」の豊かさを表すと言われています。今後も、市文化協会会員相互の交流を深めながら、その活動により、市民の皆様が芸術文化を存分に享受できる、文化の薫り高い「まち」づくりに繋がることを期待しています。

結びに、霧島市文化協会の今後益々のご発展と会員各位のご健勝・ご多幸を祈念し、発刊のごあいさつといたします。

霧島市文化協会「会報きりしま」第18号の刊行を心よりお喜び申し上げます。

瀬戸口会長をはじめ、文化協会の皆様には、かねてより多様な活動を通して、本市の芸術文化の振興に多大なる貢献をいただいておりますこと、深く感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、昨年後半からコロナ禍前の日常を取り戻しつつあり、今年は更に趣向を凝らした芸術祭や各支部の文化祭などが開催されるものとご期待を申し上げます。

一昨年の7月に行われた議員と語ろかの席上、「芸術文化を考えた時に、霧島市で出来ることは何か」との議員の問いかけに対し、「立ち上がれ文化人、そして我々の意識改革も必要」と、お答えになった瀬戸口会長のお言葉が印象深く文化は生き甲斐と自認される会長の決意のほどを垣間見た気がいたしました。

芸術文化は、市民の心を豊かにし、生活に潤いを与え、社会全体の活性化に寄与する存在でございます。

今後とも、会員の皆様の芸術文化の伝道師としてのご活躍と文化協会の益々のご発展をご祈念申し上げます。

【横川支部】

二年ぶりの支部文化祭の開催に向けて理事会で協議した結果、11月4～5日の2日間、大隅横川駅舎にて展示の「小さな文化祭」を開催することに決まりました。

会員の作品の他に、横川中学校生徒さんの作品や緑風園さん、デイサービスセンターえがおさんの作品も展示しました。そして今回は、横川でお店をされている横川k i t oさん「大ちゃん弁当」が出店されて大人気でした。他にはフリーマーケット出店の協力も有り、会場は大盛況でした。

2日間、150人以上の来場が有りました。この場を借りてご協力頂いた皆様には心より感謝申し上げます。



【牧園支部】

令和5年度の牧園支部文化祭は、コロナ禍前と同じように盛大に開催することができました。また、当日はご多忙の中に市長様や市議会議長様、そして関係者も含めて400名を超す多くのお客様にお越しいただきました。

支部会員の日頃の練習の成果を思う存分発揮しまして、来場されたお客様も満足、発表した出演者も満足していただきました。

今年度は新たに日本舞踊と社交ダンスの2団体が支部に加盟しまして、舞台を盛り上げていただきました

今回もボランティアとして、県立霧島高校の生徒の方々が受付係や舞台大道具係、舞台アナウンス係のお手伝いをいただきました。音楽部の皆さんには、舞台発表のトリを飾っていただきました。

令和6年は、みやまコンサールのパイプオルガン設置工事のため、支部文化祭は9月15日に開催いたします。



【霧島支部】

霧島支部は、霧島国際音楽ホールでの研修視察から始まりました。国内外で活躍される三名の演奏を身近で感じることが出来、素晴らしい研修でした。

移転の為、今年度で閉館になる霧島公民館で、最後の文化祭を開催しました。オープニングには霧島神楽の「神前舞・岩戸開」、作品展示、舞台発表、地域の飲食店、キッチンカー、バザーなどもあり賑わいました。霧島支部は50周年を迎えます。

今後も益々の文化振興を図りたいと思います。



【溝辺支部】

令和5年4月15日に総会を開催し、新年度の活動が始まりました。溝辺支部の活動は、数年前まではスケッチ大会・書初め大会の行事も行っていました。参加者の減数等が続いた為中止となりました。現在では文化祭が主な活動になっています。今年の溝辺文化祭は、コロナ禍以前のように溝辺地区の保育園・幼稚園、小中学校の皆様に協力をいただき会員団体と共に、会場を盛り上げていただき、賑やか文化祭となりました。また、当日は久しぶりに「みぞべ秋祭り」も同時開催され、会場のみぞめ館前では地元農・林・畜産・キッチンカーなど飲食出店もあり、大変なごわい、充実したひと時を楽しんでいただけたと思います。



【隼人支部】

令和6年のスタートは、元日の能登半島地震翌、2日の羽田航空機事故と大変悲しいニュースが飛び込んで来ました。心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。隼人支部におきましても、微力ながら支援をしたいと思っております。

令和5年4月28日の総会において議案承認の末、28団体、会員数473名は、明日に向かって活動いたします。

「第65回文化祭」は10月29日に開催、常連の宮内小学校金管バンドは学校行事と重なり不参加になりましたが、隼人中学校ブラスバンドの演奏は、オープニングを盛大に盛り上げる開演となりました。

本年も地域の方々に喜びを与えて、また我々も元気を頂きながら楽しい活動を行っていきます。



【国分支部】

今年、コロナ禍が一段落しましたが、国分支部は一応の対策をしつつ、会員相互の連帯と協力、努力により当初予定していた行事は滞ることなく実施できました。

「文化祭」舞台発表部門は11月3日(金祝)に多くの市民の来場を得て開催出来ました。展示部門は10月28日(土)～11月3日(金祝)にシビックセンターで開催しました。

今年も作者の思いの込められた作品で鑑賞者の多くの人から賞賛の聲が挙がっていました。これからも基本理念の「文化を受け継ぐ誇り」「文化を創る喜び」「文化を伝える喜び」を持って、会員一同、精進を重ねて参ります。



【福山支部】

今年度で十八回目となる福山支部文化祭を、福山活性化センターにおいて開催いたしました。

今回は、コロナ禍明けということで、手指消毒のお願いはしつつ、マスクの着用については、各自の判断ということにしました。そして、昨年度に続き、舞台発表、展示発表共に実施いたしました。

福山支部は、現在四団体と、昨年度よりさらに一団体少なくなりました。しかし、今年度も、福山地区内外で文化活動に取り組んでいらっしゃる皆様と協力をいただきながら、舞台発表では二十のプログラムを編成し、また、展示発表では四十八個人・団体の作品を展示し、実施することが出来ました。特に、今年度は、公募等による個人・団体の参加を多数得られたことが大きな収穫でした。

来年度は、文化祭への参加を機に、念願の展示団体が加入の予定です。今後も、地域の活性化と文化振興のため尽力して参ります。



第18回 霧島市芸術祭展示発表

【令和5年11月26日～12月2日霧島市民ギャラリー】



展示会場



書道作品



横川支部



溝辺支部



牧園支部



隼人支部



霧島支部



国分支部

文芸作品

にしき江短歌会 霧島教室

思ひひとつ決するごとく傘を開ぢ
夜のスーパ一のドアを割りゆく
秋の陽にたっぷりふくらむ布団に
臥し今生の別れ今なら言へる
けふの空泣きて笑ひて微笑みて
夕べ鎮もる縹の色に
一期一会の街の灯流れゆく車窓
思ひ遙けき夜汽車の旅は
卒寿すぎ寂たる血潮を浄めつつ
亦新しき年を言祝ぐ

南 房子

油田 重隆

内田 京子

田中 洋子

落合 生穂

隼人俳遊会

フィナーレの地上の歓喜や秋夕焼け
知床の悲しや小雪ちぎれ唄
早雲や箱根を駆けりイノコヅチ
夕暮れのスタンダールの秋の雲
柿泥棒いたずら懲りぬ悪太郎

庭 女

宇都山

竹麻呂

理風人

鯛 単

霧島俳句同好会

冬晴れや「吉」とふ蕎麦屋のれん上ぐ
秋天や島に天草四郎の碑
車座の討論会や神の留守
東雲やすりと落つる笹の雪
受験子や東京行きの寝台車目

八ヶ代典子

松元 明子

山内 幸子

マンツェル
・まこ

徳丸 道明

第19回きりしま

美術大賞展

霧島市文化協会の共催事業である「きりしま美術大賞展」が7月に開催されました。一般部門269点、ジュニア部門2,480点の応募の中から、審査により入賞152点、入選443点が選ばれ、展示会場のシビックセンターには多くの方が訪れました。

【霧島市文化協会賞受賞作品】

●自由部門

『強さと、やさしさと、』

小迫 妙子(鹿児島県曾於市)



『縦走路』

川畑 孝和(鹿児島県鹿児島市)



『強さと、やさしさと、』

小迫 妙子(鹿児島県曾於市)



『楽しい はつうまい』

瀧間 航宇(国分小学校)



『公園・ママ』

たなか ほのか(浄光こども園)



『喜び』

久留須 大雅(横川中学校)



『ぼくはドラマー』

上野 悠喜(天降川小学校)

●テーマ部門

『縦走路』

川畑 孝和(鹿児島県鹿児島市)

●ジュニア部門(幼児の部)

『公園・ママ』

たなか ほのか(浄光こども園)

●ジュニア部門(小学校低学年の部)

『楽しい はつうまい』

瀧間 航宇(国分小学校)

●ジュニア部門(小学校高学年の部)

『ぼくはドラマー』

上野 悠喜(天降川小学校)

●ジュニア部門(中学生の部)

『喜び』

久留須 大雅(横川中学校)

霧島市文化芸術議員連盟

第1回芸術文化議員連盟(以下議員連盟)と霧島市文化協会との芸術文化フォーラム意見交換会を開催した。

兼ねてから要望していた意見交換会は議員連盟代表者鈴木てるみ議員による献身的配慮により日程調整の結果、開催する事が出来た。

議員連盟13名中、7名が参加されました。日頃から当協会の活動には積極的な足を運ばれていて現状を把握されています。

参考になる意見として会員以外の活動家や子供たちへ手を差し伸べているのか、学校、自治会に対して文化活動の楽しさを提供しているか等、貴重な意見をいただきました。

当協会の会長を含む7名の役員は、次世代文化協会の発展を目指しています。

「議員と語る会」に参加してから4年になりますが議員さんとの交流も活発になっています。又、賛助会員制度の取り組みも前進しています。

最後に、地域文化の保存と継承について議会においても真剣に検討して欲しいと要望した。

第10回記念霧島市文化講演会

加治木島津家第13代当主島津義秀様の講演会を開催。来場者の大半を女性が占め島津義秀様の人気度が分かります。

初代忠久公から中興の祖日新斎名君義久公と秀吉の和睦交渉や第17代義弘公と精矛神社の社の謂れ、島津御一門家の系列等レアな歴史談。後半は、義弘公の戦ぶり「木崎原の戦い」の模様を薩摩琵琶の力強い弾奏で二曲披露されて万雷の拍手で締め切った。

(5年8月27日多目的ホール)



霧島国際音楽祭

きりしま友の会

きりしま友の会は、霧島国際音楽祭を積極的に支援することを目指す。音楽を楽しむ地域づくりの活動をしています。

第2回まちなかコンサートは、「バイオリンひまわりプロジェクト」を迎えて国分山形屋にて沢山のお客様と音楽のひと時を楽しみました。

(R5年7月9日)



始良地区文化協会

連絡協議会

霧島市・始良市・湧水町で連携して文化交流が続いています。

2年毎の持ち回りで湧水町吉松体育館を会場に舞台、展示の文化祭は開催された。展示部門は大規模で豊富な内容には圧倒された。

(R5年11月19日吉松体育館)



編集後記

▼瀬戸口会長の言葉には、文化協会の認知度向上に強い決意が感じられます。

▼横川支部は、大隅横川駅で展示作品を公開しました。

▼牧園支部は、個性的な文化祭と会員の結束が魅力です。

▼霧島支部は、来年は会場を変えて、文化祭を開催します。

▼溝辺支部は、地域活性化と文化祭の発展を模索進行中。

▼隼人支部は、65回目の文化祭を賑やかに締め括りました。

▼国分支部は、ワークショップを展示発表に取り込み、市民を巻き込んだ動きに挑戦。

▼福山支部は、民芸保存会の応援出演が見事でした。

▼第10回記念文化講演会は、島津義秀氏の薩摩琵琶弾奏は、女性鑑賞者に好評でした。

▼始良地区文化交流事業は、吉松体育館の豪華展示作品に圧倒されました。

(文責 内山竹文)